



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

2025年7月～2026年6月

会長 今井 武彦
副会長 福島和州太郎
直前会長 神保伊和雄

国際会長主題 「信念、愛、行動」
アジア会長主題 「信念と愛をもって行動しよう！」
東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
東新部部长主題 「「考えること」を止めないで進もう！」
クラブ会長主題 「今、この時、新たな一歩を！」

書記 伊丹 一之
会計 福島和州太郎
担当主事 本多 良章

2026年2月例会（768回）

（強調月間：TOF/FF/HTW）

今月の聖句

互いに重荷を担いなさい。そうすれば、
キリストの律法を全うすることになります。
(ガラテヤ信徒への手紙 6-2)

Bear one another's burdens,
and so fulfill the law of Christ.

認知症サポーター養成講座に参加しよう

日時:3月19日(木)14:00-15:30

会場:東京YMCA山手センター

2月例会

日時 2026年2月17日(火) 18:00～20:00

場所 東京YMCA東陽町センター・YMCAホール

TOFのため、食事なしの例会です。

※欠席の方は 2/13までに今井まで連絡ください

2月強調月間 TOF/FF/HTW について

TOF :タイム・オブ・ファスト。クラブ例会での食事を抜き、
その金額を発展途上国の支援プロジェクトに用いる。

FF :ファミリー・ファスト。ワイズメン家庭での食事を抜き、
その金額を発展途上国の支援プロジェクトに用いる。

HTW :ヒール・ザ・ワールド。世界を癒そう。(伊丹 記)

HAPPY BIRTHDAY

27日 福島 和州太郎

結婚記念日おめでとう

17日 今井 武彦・みどり

2月本例会プログラム

受付 長谷川正雄
司会 福島和州太郎

開会点鐘 会長 今井 武彦
ワイズソング 一同

聖書朗読・祈祷 神保伊和雄

ゲスト・ビジター紹介

卓話 「仮題：ラオス訪問報告」

宮田 康夫

強調月間アピール 伊丹 一之

ハッピーバースデー・結婚記念日 司会

スマイル 城井 廣邦

諸報告 本多 良章他

閉会挨拶 伊丹 一之

閉会点鐘 今井 武彦

2026年1月の記録（※累計は期初からの24累計）

会員出席状況	メーキャップ記録	スマイル	4,000円
正会員 7名	出席(メネット) 0名	BFポイント	現金累計 円
功労会員 1名	出席(コメント) 0名		切手累計
在籍者数 8名	出席(ゲスト) 3名		
出席(正会員) 5名	出席(ビジター) 15名	0名	リングプル 累計 279.5kg
出席(功労会員) 1名	例会出席総数 24名	1月出席率 71%	むかで基金 今月分 11,610円

会費振込 みずほ銀行 亀戸支店（普通）3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

1月 東京・むかで合同例会 報告

東京むかでワイズメンズクラブ1月例会は、2026年1月13日(火)18時30分より、東京YMCA東陽町センター1階ホールにおいて、東京クラブとの合同で開催されました。

司会は東京クラブの担当主事・松本数実君が担当、東京クラブ・渡邊実帆会長による開会点鐘で開会しました。ワイズソングとワイズの信条の後、佐々木行恵君(東京)により両クラブの聖句朗読と祈祷がありました。

ゲスト・ビジター紹介では、本日のスピーカーである元内閣官房長官・藤村修ご夫妻と、Zoomで参加の宮内友弥君(東京武蔵野多摩)と小原史奈子君(東京たんぽぽ)が紹介されました。

続くYMCA報告では、池田麻梨子主事より、バザーでの売り上げの結果、東京クラブ23,000円、東京むかでクラブ26,000円をYMCAに献金したとの報告がありました。続いてお食事は、升本のお弁当とみそ汁をいただきました。その後に行われた結婚記念日では、むかでからは神保伊和雄君に記念品が贈られました。



藤村修氏【写真左】による卓話は、「なぜブラジルだったのか」とのタイトルで、次のように語られました。

私は東陽町に住んでいて、歩いて4分位でこのYMCAに来了。いま政治の世界では衆議院解散が予想されています。実は、2012年11月の解散時には、野田政権で内閣官房長官を務めており、当時の政策は「社会保障と税の一体改革」。2012年10月からの閣僚懇談会の後に、野田

総理、岡田副総理、安住財務大臣と自分で解散を決定、テレビの党首討論会で発表しました。また、11月末公示、12月選挙の日程を決めました。

ブラジルとの関わりは、1976年に25人の交通遺児の付き添いでブラジル研修旅行に行ったことが始まり。日系人が多いので大歓迎を受けて、日本ブラジル青少年交流協会の初代事務局長を務めました。

「なぜブラジルだったのか」は、ブラジルで目が開け、長くかかわったからです。

卓話の後には通常プログラムをこなし、むかで今井武彦会長による閉会点鐘で会を閉じました。(伊丹 記)

むかで出席者:今井、伊丹、神保、長谷川、本多、宮田

東京出席者:池田、加藤、小島、佐々木、佐藤z、庄司z、進藤、長澤、比奈地、松田z、松本、渡邊

ゲスト:藤村修、藤村真弓、梶尾茂樹(長澤友人)

ビジター:宮内友也(東京武蔵野多摩)z、小原史奈子(東京たんぽぽ)z、吉野勝三郎(川越)z (z=Zoom参加者)

在京ワイズメンズクラブ会長会・新年会参加報告

1月10日(土)10:00~11:30に、在京ワイズクラブ会長会が東京YMCA社体保専門学校2階演習室で開催されました。司会は、会長会幹事の小原史奈子(東京たんぽぽ)・伊藤幾夫(東京多摩スマイル)ワイズ。YMCA星野太郎総主事の挨拶は、「YMCA VISION 150」の進め方について話された。他に、各クラブ会長・担当主事の現況報告がなされました。

同日の13:15~16:30に、新年会が東陽町センターYMCAホールで、北海道部から富士山部までの90名弱の方々を集め開催されました。



第1部オープニングセレモニーは、東京YMCA高等学院トーンチャ임部の学生による讃美歌演奏で始まりました。

第2部・第3部は、小原ワイズの開会点鐘、参加者全員によるワイズソング斉唱、田附和久ワイズ(東京武蔵野多摩)の聖書朗読・祈祷が行われ、主催者の武蔵野多摩クの渡辺大輔会長の歓迎の言葉、YMCA星野総主事の挨拶がありました。

その後「ユースと話す、ワイズを語る」と題して、ユースリーダーを交えてのグループ・ディスカッションが行われました。若者との良き交わりの時が与えられました。

第4部は、懇親会。普段会えない方との懇談のときと与えられ感謝でした。

むかでクラブ参加者は2名と少なく、残念でした。

出席者:神保、今井 (今井 記)

YMCAソシアスフォーラム参加報告

1月31日(土) 14:00~16:30まで山手センターで東京YMCAソシアスフォーラム2025が開催されました。『「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」が問うこと』と題して、社会福祉法人賛育会事務局ミッションサポーター部部長大江浩氏よりお話をいただきました。

1918年創業の社会福祉法人賛育会は、キリスト教セトルメントとして下町で困窮する母子の保護・保健・救療を開業し、翌年に日本最初の産院設立し、今日に至る。

「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」の開始経緯は、1. 困窮下の母子の保護・保健・救済のため。

2. キリスト教の隣人愛の実践

3. 看過できない「静かなる非常事態」の頻発。予期せぬ妊娠や孤立出産、嬰兒の遺棄と貧困・虐待・家庭崩壊等の対応(母子支援相談年間平均1,700件)のため。以上の状況を踏まえ、3つの事業の実施

1. 「妊娠したかもSOS」(匿名相談)

2. 「内密出産」

3. 「ベビーバスケット」(匿名の預入れ)

病院と地域社会福祉法人との協働が必要です。さらに、社会のセーフティネット(いのちのネットワーク)として、行政:東京都、墨田区、江東児童相談所

警察:警視庁・本所警察署

首都圏の民間支援施設:妊娠SOS相談、母子寮、乳児院、里親養子縁組機関等のネットワーク支援体制の維持をしている。

最後に、目指すところは、

1. 25年先に行く、ドイツを目指す。

2. 「内密出産」と「ベビーバスケット」は、母(女

性)の最後の砦。赤ちゃんの命の「最初的一步」

3. プロジェクトが不要な社会!すべての人の命が守られる社会を目指している。

講演内容は、現実の社会の厳しさを学ぶ時が与えられました。(今井 記)

1月第二例会報告

第二例会は1月28日(火)18:00よりZoom方式で開催されました。打ち合わせ、協議事項は以下の通りです。

1. ブリテン2月号の発行について

・各原稿担当者の確認

1月合同例会報告:伊丹君、在京ワイズ新念会報告:今井会長、ソシアスフォーラム報告:今井会長、第二例会報告:長谷川、他通常原稿

・原稿締め切りは2月5日(火)とし、12日(木)を発行予定とする。城井君、伊丹君宛て送信。

2. 今後の例会プログラムなど

・2月本例会はT0Fで食事なし、終了後会食を予定。

卓話:宮田康男君「ラオスで感じたこと」を予定。

・3月本例会の卓話者は、東京クラブ佐々木行恵君(現クラブ書記)を予定。葬儀会社・株式会社クリスチャンサービスを経営されています。

3. 次期クラブ役員についての意見交換

・次期東新部役員として、クラブからは伊丹一之君が幹事、今井会長が副会計の就任が予定されています。

・今期のクラブ役員続投の意見があり、2月本例会で今後のクラブ運営と併せて検討する時間を確保する。

4. 自由献金について。32,000円(納付期限は2月15日。

前期クラブ内で項目検討。今期の献金金額は2025.7.1区よりの配布資料より。)

・CS(9,000円)、BF(6,000円)、T0F(6,000円)、ユース活動支援(6,000円)、ユースサポートファンド(5,000円)

・区費について

宮田康男君入会があり、8名として58,900円(入会金6,000円、ロースター代4,400円を含む)

5. その他

・6月6日開催予定の第29回東日本区大会に出席登録を!! DBC石巻広域クラブがホストとして活動中です。

(長谷川 記)

会 長 通 信

私たちワイズメンズクラブは、YMCA活動を支える重要な役割があります。

活動は、金銭的支援で事足りるとの考え方に陥っていな

いないでしょうか。

私も、金銭的支援で事足りると考えていました。しかし、東新部部長を2年間経験したことで、この考え方を修正せざるを得ないと、遅ればせながら気が付きました。

YMCAのスタッフの方々と顔を合わせ、話を聴き、初めて、その事業の大変さが分かってくるのです。

そのようなことから、むかでの皆さん、ワイズの皆さん、YMCAが色々企画されている事業に、積極的に参加しましょう。昨年9月のチャリティーイラン、11月国際協力街頭募金、1月ソシアスフォーラムがありました。さらに2月多文化共生スペース研修会、3月認知症サポーター養成講座があります。

自分自身の自己啓発のためにも参加をお勧めいたします。

(今井 記)

<2月の予定>

- 3日(火) 東京多摩スマイルクラブ・2月本例会
- 4日(水) 東京YMCA多文化共生スペース研修会 I
- 5日(木) 東京町田コスモスクラブ・2月本例会
- 10日(火) 東京クラブ・2月本例会
- 12日(木) 東新部会長会・Y友広場(Zoom)
- 15日(日) 2025-26年度各種献金納付期限
- 17日(火) 東京むかでクラブ2月本例会
- 21日(土) 東京YMCA多文化共生スペース研修会 II
- 24日(火) 東京むかでクラブ・第二例会(Zoom)

<3月の予定>

- 17日(火) 東京むかでクラブ3月本例会
- 24日(火) 東京むかでクラブ3月第二例会(Zoom)

Y M C A ニュース

【食品のご寄付お願い】第19回フードパントリー 3月20日開催

「東京YMCA下町こどもダイニング⇒」は3月20日、「第19回フードパントリー(食品の無料配布)」を開催します。「フードパントリー」は、主に江東区在住のひとり親世帯や生活が困窮されている世帯に無料で食料を配布する活動です。食材1つでもけっこうですので、ぜひご支援いただきたくお願いいたします。

【いじめのない世界をめざす「ピンクシャツデー2026」(2月25日)】

YMCAはピンクシャツデーに取り組んでいます。社会全体がいじめに対して「自分事として」向き合うこと、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が「傍観者にならないこと」が、いじめられている人を救うことになる...と私たちは考えます。公正で平和な世界の実現をめざすために、私たちはその歩みを続けます。

いじめの問題について一緒に考え、アクションを起こしませんか？

2026年のテーマは「だいじだよ わたしのきもち ぼくのきもち」。

全国のYMCAは今年も2月最終水曜日に、ピンク色の服や小物を身に着けていじめ反対をアピールする「ピンクシャツデー」運動に取り組みます。

皆さまもぜひアピールにご協力ください。

(本多 記)

1月会計報告・リングブル報告

	月間収入額	月間支出額
経常部	7,500 円	115,230 円
活動基金部	11,610 円	0 円

■月次収支合計: ▲96,120円

■現預金残高(2/7現在): 456,415円

(収支の主な内訳)

- ・経常収入: 例会参加費 7,500円
- ・活動基金収入: スマイル 4,000円、CS献金 7,500円
- ・経常支出: 区費登録費等 58,900円、各種献金 32,000円、例会食事 9,000円、講師謝礼 10,000円
図書カード 5,000円

(福島 記)

2. プルタブ 1月預かり分

今月は1.2kgの報告がありました。匿名の方からです。感謝して報告いたします。

(神保 記)

編 集 後 記

現代の変化が更に大変化となる2100年では、人口6,000万人に減少するといわれています。人口減少社会は小産多死社会になり、人口減少につながっています。先日企業クライアントからの要請で「人口減少逆張りビジネス」540pの本の解説要請があり、年末年始は分析とレポートづくりに追われていました。ゆっくりとした正月ではなく最も複雑な心境でした。200pを越える解説レポートは1月13日、幹部社員を集めて5時間の講演になりました。

しかし、2週間以上かけた私のレポートをAIは一日で新たな編集を終え、意図することを上手にまとめてくれました。おまけに15分の動画を作り感動しました。このことを見てもAIの時代はAI社会になることは間違いないことと思いました。AIを人がいかに活用できるかは、人がAIを使いこなせる情報量が必要になり適切な判断を人がすることになる。今、関わっている仕事のほとんどはAIが相談相手となっています。私たちワイズはこうした社会にどう生き残ろうとしているのか、問いかけられていると思います。

(城井 記)